

競 技 注 意 事 項

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

練習は、競技場バックストレート付近および競技場周辺、多目的広場（28日のみ）（使用方法について下記参照）を原則とする。投てき競技（砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投）の練習については、競技開始1時間前から競技場内で練習できる。係員の指示に従って行うこと。棒高跳の練習については、競技開始60分前より競技場内を使用することができる。

○競技場（バックストレート）の使用について

- ・競技を優先とする。
- ・周回種目の時間帯は使用できない。
- ・ハードル種目は競技実施日のみ練習可とする。
- ・28日（土）実施の女子400mHは7レーン、男子400mHは8レーンを使用して、第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路を使用する。
- ・29日（日）実施の女子100mH・中学100mHは5・6レーン、男子110mH・中学男子110mHは7・8レーンとする。

○多目的広場の使用について（28日のみ利用可）

- ・シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ・ウォーミングアップまたは、動きづくり・軽く流す程度の練習は行ってもよい。スパイクを履いての練習は禁止する。
- ・また道具を使用してのウォーミングアップでは使用しないこと。

棒高跳について

競技開始60分前から現地にて跳躍練習を行うことができる。ただし、審判員の指示に従うこと。

2 スパイクシューズ等の制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は、12mm以下とする。

3 アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
 - ②トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横やや後方につけること。
 - ③3000m以上の種目は別ナンバーカードを使用する。
- ※別アスリートビブスは招集所にて配布する。

4 選手招集について

- ①選手招集場所は、**第4ゲート倉庫前付近**とする。
- ②招集時刻は競技時間を確認すること。
 - ※1：棒高跳は、現地で招集を行う。
 - ※2：参加人数の多い種目については、段階的に招集を行うので、競技時間に記載している招集開始時刻、招集完了時刻を確認すること。
- ③招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。

④ 2 種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。

5 競技について

① 競技順は、プログラム記載の番号順とする。

② その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。

③ トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。

「不正スタートについて、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」

④ 短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。

⑤ 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を番組編成表示板に掲示する。

⑥ トラック競技において、同記録者がでた場合は、写真判定主任により写真を拡大し細部（電気時計1/1000）まで読み取り着差の判定をする。ただし、着順優先とし、各組上位者のみとする。

⑦ レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。

⑧ 下記の種目については、予戦をタイムレースで行い、上位8名で決勝を行う。

男子 100m・200m・400m・800m

女子 200m

⑨ 男子5000mW・女子5000mWについては下記の時間を越えて最終周回に入らない。

男子5000mW：35分、女子5000mW：40分、

⑩ 4×100mリレーのマーカ―は、1カ所のみ使用することができる。使用したマーカ―はそのチームで処理すること。

⑪ 4×400mリレーに出場するチームの第2～第4走者は、胸に別アスリートビブスを使用する。また第2・第3走者は通過順位確認のため、パンツの左横やや後方につけること。別アスリートビブスは招集所で配布する。

⑫ 競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。

⑬ 携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。コーチエリアからのコーチの持つ映像を見せることはできる。ただし、選手が機器等を手に持って画像を確認することはできない。

⑭ 走高跳の最初の高さは、男子：1m55、女子：1m25からとする。

棒高跳の最初の高さは、男子：3m20、女子：2m20からとする。

⑮ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方については、下記の通りである。

		練習									以降
走高跳	男子	150	155	160	165	170	175	180	185	188	3 cm刻み
	女子	120	125	130	135	140	145	150	153	156	3 cm刻み
棒高跳	男子	300	320	340	360	370	380	390	400	410	10 cm刻み

⑯ 三段跳の踏み切り板の位置について、男子：11m、女子9mとする。

6 競技用具について

① 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ただし、やりは検査において合格したものに限り使用が認められる。個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判が行い、やりの検査は競技開始60分前に招集所にて実施する。

② 練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいない。

7 表彰について

各種目3位までの入賞者に賞状を授与する。

※ただし、表彰式は行わないので、1～3位までの入賞者は、正面玄関付近に賞状を取りに来てください。

8 その他

- ①やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ②応急処置を要する健康上問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③更衣室は利用してもよい。
- ④記録は、記録の掲示については行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。
- ⑤プログラム配布は競技場内、正面玄関の大会受付にて行います。
※本大会は、1所属 1部 プログラムを購入することとなっています。
- ⑥参加料の納入は正面玄関大会受付にて行います。